

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00461)

事務事業名称		エコスクールの推進			款	07	項	01	目	02	事業	002	整理番号	481
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設整備係			連絡先電話番号	1682	昨年度整理番号	461
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	投資事業
事務事業の概要	事業開始	平成13年度												
	平成26年度担当課名	学校整備課										事業評価区分	一般	
	対象	区立小・中学校			根拠法令等	(1)	学校教育法第5条							
						(2)	地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	既存学校施設の緑化・エコスクール改修を計画的に進め、環境に配慮した学校運営及び学校を核とした地域の環境教育の推進を図る。			活動指標	指標名(1)	校庭芝生化実施校数							
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	「杉並区教育ビジョン推進計画」及び「杉並区エコスクール事業検討委員会報告」に基づき、学校施設の緑化(校庭・屋上・壁面)、ピオトープの整備等を実施する。			成果指標	指標名(1)	校庭芝生化面積								
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 校	0	2	2	2	2	2	100.0					
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3 m ²	0.0	200.0	285.5	200.0	264.5	200.0	132.3					
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	10,008	6,700	5,605	9,801	8,382	6,800	平成26年度 予算執行率(%)	85.5				
	(内)投資的経費等	6 千円	10,008	6,700	5,605	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	9,639	5,000	4,568	9,500	8,119	6,000						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.53	0.50	0.48	0.45	0.47	0.45					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	4,611	4,315	4,142	3,965	4,141	3,965					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費	14 千円	14,619	11,015	9,747	13,766	12,523	10,765						
	単位あたりコスト	15 円	0	2,157,500	2,071,000	6,883,000	6,261,500	5,382,500						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	5,000	4,567	6,000	4,968	6,000					
その他の補助金等		19 千円	0	10	11	8	8	8						
特定財源計		20 千円	0	5,010	4,578	6,008	4,976	6,008						
差引:一般財源		21 千円	14,619	6,005	5,169	7,758	7,547	4,757						
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	481
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		校庭芝生化	2	校	4,968
		ビオトープ造成	1	校	3,151
		その他()			263
(2) 事業実績	校庭の一部芝生化を小学校2校で実施しました。また、ビオトープ造成についても小学校1校で実施しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の校庭緑化事業(芝生化・ビオトープ整備)着手以降、平成19、20年度の二次にわたる「エコスクール化検討懇談会」報告を踏まえたエコスクール化に取り組んできました。平成24年度には、小・中学校の普通教室にエアコンが設置されたこと等を踏まえた、エコスクール事業の見直しを行い、エコスクール事業検討委員会報告を取りまとめ、以降、同報告に基づく事業を進めています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	校庭芝生化については、保護者等から養生期間に校庭が使えないこと等に対する意見・苦情が寄せられています。また、夏の暑さ対策として、早期に全校でエコスクール化を実現することの要望や、校庭・屋上・壁面緑化の維持管理へのサポート及び予算配分を求める要望が寄せられています。			
	今後の予測	「エコスクール事業検討委員会報告」に基づき、エコスクールメニューを実施していきます。			
評価と課題	「エコスクール事業検討委員会報告」に基づき本事業を実施し、改築校については、みどりの創出と建物自体の工夫を行い、着実に環境改善や省エネ施設にすることが進められました。既存校については、校庭一部芝生化とビオトープ設置により環境改善と教育効果の向上が図られました。引き続き、改築校・既存校ともに各学校の実情に合わせエコメニューを実施します。実施にあたっては、学校関係者の理解と協力が不可欠であり、十分に調整を行って実施します。また、新たな課題として、防災機能強化や環境学習の点から、太陽光発電と蓄電池の設置が求められています。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	今後のエコスクール事業は、引き続き「みどりの創出」と「建物自体の工夫」を組み合わせ実施します。実施にあたっては、各学校の規模・形状など実情に即したエコスクール化を図り、教育施設の整備充実を図っていきます。みどりの創出のうち、校庭緑化については、全小中学校の芝生化(一部分含む)を目指し整備します。屋上・壁面緑化、ビオトープについても環境学習の面で効果があり、学校の施設形態を踏まえて整備を進めていきます。建物自体の工夫については、高気密・高断熱化と自然通風に配慮した「省エネ施設」に重点を置いて整備していきます。また、太陽光発電・蓄電池については、関係各課と調整のうえ、各学校の形態に応じて設置し防災機能強化に取り組めます。				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00473)

事務事業名称		情報教育の推進			款	07	項	01	目	03	事業	003	整理番号	492
現担当課名		庶務課			係名	学校ICT推進担当係			連絡先電話番号	1608		昨年度整理番号	473	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成2年度			主要事業(区政経営報告書掲載事業)									
	平成26年度担当課名	庶務課			事業評価区分 一般									
	対象	区立小・中・養護学校の児童・生徒及び教職員			根拠法令等	(1)		高度情報通信ネットワーク社会形成基本法、新たな情報通信技術戦略(平成22年)						
						(2)		教育の情報化ビジョン(平成22年文部科学省)						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	校務のICT活用促進とともに、授業におけるICT環境整備を進め、ICT活用による、児童・生徒の学力と情報活用能力の向上を図る。			活動指標	指標名(1)		教職員用パソコンの配備台数						
					指標説明		教育用パソコン1台当たりの児童・生徒数							
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	教職員用校務パソコンの配備及び同システムの維持管理 教育用パソコン(パソコン教室、教室用パソコン、学校図書館用パソコン)の維持管理			成果指標	指標名(1)		教職員用パソコンの配備台数							
					指標説明		校務システム用クライアントパソコン(校別パソコン)の配備台数							
					指標名(2)		児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数							
					指標説明		児童・生徒の利用を専用とした情報端末の、児童・生徒1人当たりの配備台数							
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1 台	1,974	1,974	1,994	1,994	1,994	2,144	100.0					
	活動指標(2)	2 人	5.4	5.5	4.0	4.0	3.7	3.7	92.5					
	成果指標(1)	3 台	1,974	1,974	1,994	1,994	1,994	2,144	100.0					
	成果指標(2)	4 人	9.1	9.0	9.0	6.9	6.9	6.8	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	540,231	565,078	553,409	653,671	641,687	728,950	平成26年度 予算執行率(%)	98.2				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	147,223	91,771	81,393	116,374	114,648	100,204						
	職員数	常勤職員数	8 人	2.62	2.00	2.45	2.00	2.60	2.00					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	22,794	17,260	21,144	17,620	22,906	17,620					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	563,025	582,338	574,553	671,291	664,593	746,570						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	285,220	295,004	288,141	336,655	333,296	348,214						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21 千円	563,025	582,338	574,553	671,291	664,593	746,570						
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	492
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		校務システム用機器賃借、教育用機器賃借			
		校務システム保守委託			61,351
		校務システム用専用ネットワーク網等通信費			16,429
		その他(図書館システム使用料、インターネット接続費 ほか)			40,292
(2) 事業実績	<p>校務システムの基幹アプリケーション「スクールオフィス」による校務処理を運用し、学籍処理の効率化と、ICT利活用の教員の理解と意識が高まりました。 動画やカラー画像など、多彩で魅力的なデジタル教材利用の促進、教材準備の効率化、児童・生徒の理解の向上に役立てることができるよう、小中学校の全普通教室と理科室に電子黒板を整備しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>H2: 中学校11校コンピュータ教室設置 / H13: 全校でネット接続環境整備 / H17: 校務システムと図書館システムのモデル校導入 / H18: 中学校教室ネット接続回線架設 / H19: 小学校教室ネット接続回線架設・全校図書館システム導入・全校教室パソコン配備・全校教職員校務パソコン配備 / H20: 校務システムサーバを設置し校務パソコンをクライアントとしたネットワークを構築。基幹アプリケーション「スクールオフィス」による校務システムを稼動 / H24: 校務システム更新及び新学習指導要領に基づくシステム改修の実施 / H26: 電子黒板付プロジェクターの整備</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>小、中学校PTA協議会から、教室のICT環境の充実と、学校に対する利活用、保守にかかる支援の拡充に対するに関する要望が提出されています。</p>			
	今後の予測	<p>少人数授業による教員の増加や中学における講師や補助教員などの増加など、常勤教師と同等の校務従事環境整備が必要となっており、今後の校務システムの規模拡大の必要が見込まれます。 視聴覚系コンテンツが中心となるデジタル教材の増加やICT機器を活用した授業スキルの開発により、更なる授業用ICT機器の需要が増加し、タブレットPCへの移行の進展とともに、パソコンがコンピュータ教室から普通教室へと配置の場を変えていくことが見込まれます。</p>			
評価と課題	<p>システムを使った時数管理や成績管理を行っていますが、今後は、授業実施時の学習情報と直接連携させ、児童・生徒への個別対応の充実を進めていきます。 電子黒板などの整備に伴い、教職員のスキル向上と、有用なデジタル教材の整備を進めていく必要があり、タブレットPC等の利用を通じ、普通教室の通常の科目の授業でも、ICTが児童・生徒の最適な教具のひとつとして、広く活用できるよう整備していきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
今後の進め方	<p>校務システムを活用し、校務の効率化を進めることができました。今後は、授業時に学習者情報と直接連携させる教育ネットワークを構築し、省力化だけではなく、児童・生徒への個別対応の充実を進めていきます。 ICTを活用した授業への取組を促し、理解と意識の向上を図るとともに、求められる知識と技能を向上させるための仕組みを整えていきます。 平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」における「世界最先端IT国家創造宣言」では、「新たな情報通信技術戦略工程表(教育分野の取組)」において2014年度より「1人1台の情報端末による教育の全国的な普及・展開と教育ITシステムの標準化」をしていくこととされ、情報端末などのICTを活用した授業実施の拡充が求められています。今後は、ICTの利活用の範囲を通常科目授業内に拡大できるよう、整備を進めていきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00474）

事務事業名称		通学路の設置管理			款	07	項	01	目	03	事業	004	整理番号	493
現担当課名		学務課			係名			学事係			連絡先電話番号	1622	昨年度整理番号	474
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和38年度												
	平成26年度担当課名	学務課												
	対象	区立小学校児童			根拠法令等	(1)		交通安全対策基本法第4条						
						(2)		交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、同施行令						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	児童を交通事故や犯罪から守り、登下校並びに地域の中での安全を実現する。			活動指標	指標名（1）		通学路標識の取替え組数						
					指標説明		通学路防犯カメラの設置数							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標名（2）	指標説明		通学路防犯カメラの設置数							
	安全性が高いと判断される道路を、登下校に適した通学路として設定している。東京電力の電柱に通学路であることを示す「文」標識を取付け、安全に通行してもらうよう周知している。子ども安全ボランティア活動の支援や学校安全マップの作成を行っている。平成26年度から4年間で、全区立小学校の通学路に1校につき5台の防犯カメラを設置する。			成果指標	指標名（1）		登下校時に交通事故に遭った児童数							
					指標説明		子ども安全ボランティア数							
				指標名（2）	指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）					
指標	活動指標（1）	1 組	879	1,359	1,105	1,036	937	896	90.4					
	活動指標（2）	2 台	0	0	0	30	30	60	100.0					
	成果指標（1）	3 人	10	0	14	0	21	0	0.0					
	成果指標（2）	4 人	11,523	12,000	12,322	12,500	12,402	12,500	99.2					
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	4,672	6,714	5,755	17,000	14,255	28,937	平成26年度予算執行率（%）	83.9				
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費	7 千円	3,408	5,284	4,351	15,423	12,766	26,923	平成26年度から通学路防犯カメラ事業が始まったため、総事業費で、前年度比2.38倍の増加となっています。防犯カメラ設置工事の契約を一般競争入札で実施しましたが、落札額が見積額より低かったため執行率が83.9%となっています。					
	職員数	常勤職員数	8 人	0.62	0.45	0.58	0.45	1.29	1.24					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	5,394	3,884	5,005	3,965	11,365	10,924					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費（5+11+12+13）	14 千円	10,066	10,598	10,760	20,965	25,620	39,861						
	単位あたりコスト（(14-6)÷1）	15 円	11,452	7,798	9,738	20,236	27,343	44,488						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	4,548	11,372					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計（16+17+18+19）		20 千円	0	0	0	0	4,548	11,372						
差引：一般財源（14-20）		21 千円	10,066	10,598	10,760	20,965	21,072	28,489						
受益者負担比率（16÷14）	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	493
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		通学路標識の取替	937	組	3,534
		学校安全マップの作成	28,890	枚	917
		スクールゾーン標示板(バリケード)の作成	10	基	126
		通学路防犯カメラの設置	30	台	9,232
		その他（通学路線図の作成、子ども安全ボランティア傷害保険料の支出）			446
(2) 事業実績	<p>平成24年4月に亀岡市で、登下校中の児童が犠牲になる痛ましい交通事故が発生したことを受け、文部科学省、国土交通省、警察庁が連携し、平成24年度に、全国一斉に緊急点検を実施しました。杉並区でも全小学校を点検し、平成25年度以降も、区内3警察署、学校、PTA、土木事務所と連携し、毎年10校程度通学路点検を実施しています。また、平成26年度から4年間で、都の補助事業を活用し、全小学校の通学路に1校あたり5台の防犯カメラを設置することとしました。（26年度は、30台を設置）さらに、全小学校で作成した学校安全マップのロビー展示を実施しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和40年代に社会問題化したモータリゼーションによる交通事故の増大に伴い、児童の安全確保のため、通学路の設定・整備や交通規制といった対策を講じてきました。しかし、住宅地の抜け道を走る自動車や、歩道を疾走する自転車の交通マナー低下による危険性も問題化しており、通学路の安全対策が大きな課題となっています。 また、ここ数年は、児童の連れ去り等、防犯対策の視点からも通学路の安全確保が求められているほか、東日本大震災以降は、災害時の安全対策についても関心が高まってきています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>通学路の安全確保だけでなく、災害時や防犯に関する要望も増加しています。これまで以上に警察等をはじめ、交通対策課や危機管理対策課等さらに幅広いセクションとの連携による対応が求められています。 登下校中の通学路での交通事故報道を受け、保護者や地域住民から安全確保に対する取組についての要望が増えています。</p>			
	今後の予測	<p>近年は悪質な自動車に加え、児童の脇を疾走する自転車の交通マナー低下による危険が生じているほか、児童・生徒をターゲットとした変質者の出没も後を絶ちません。登下校中もしくは放課後における通学路上の様々な安全の確保については、教育委員会、警察署、道路管理者（杉並土木事務所）学校、保護者とが、連携を強化しながら対応していく必要があります。</p>			
評価と課題	<p>平成24年度に全校で実施した通学路の緊急合同点検の結果は、毎年全校で実施している「学校安全マップ」作成等の際に参考として活用しています。今後とも、全児童、保護者、地域住民、教育委員会が、危険箇所に関して共通の認識を持ち、危険度の高い場所を中心に防犯カメラを設置したり、重点的にパトロールするなど、今後も通学路の安全確保に向けて取り組んでいきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>通学路の安全確保については、交通安全対策に加え、防犯対策、災害時の対策などの視点から、多角的なアプローチによる対応が求められています。平成24年度に実施した緊急合同点検の結果を踏まえ、児童の交通事故や連れ去り等を防止するため、関係各課・機関との調整及び連携強化を図り、安全・安心の通学路の実現に向けて取り組んでいきます。従来から実施している安全パトロール等を補完する取組として、東京都の補助事業を活用し、平成26年度から4年間で、1校あたり5台の防犯カメラを全区立小学校の通学路に設置していきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00487）

事務事業名称		学校図書館の充実				款	07	項	01	目	03	事業	018	整理番号	507
現担当課名		教育人事企画課		係名		教育人事係		連絡先電話番号		1654		昨年度整理番号		487	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成21年度	実行計画事業		目標	05	施策	27	計画事業		03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成26年度担当課名	教育人事企画課										事業評価区分		一般	
	対象	杉並区立小・中学校の児童・生徒				根拠法令等		(1)		杉並区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例					
							(2)		杉並区教育委員会非常勤職員規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）				活動指標		指標名（1）		学校司書配置校数						
学校司書を配置し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みを整備することにより、子どもたちの活発な読書活動を推進する。				指標説明		指標名（2）									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				指標説明		成果指標									
学校図書館の運営体制の充実・強化を図り、学校の経営力・教育力を高めていくため、区立小・中学校に学校司書を配置する。				指標説明		指標名（1）									
						指標名（2）									
						指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（1）	1 校	66	65	65	65	65	64	100.0						
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3													
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	90,194	142,948	135,281	148,631	141,011	150,711	平成26年度 予算執行率(%)	94.9					
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	13,050	12,945	12,945	13,215	13,215	13,215						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	103,244	155,893	148,226	161,846	154,226	163,926							
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	1,564,303	2,398,354	2,280,400	2,489,938	2,372,708	2,561,344							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	103,244	155,893	148,226	161,846	154,226	163,926							
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 507			
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		学校司書に対する報酬・旅費	65	人	141,011
(2) 事業実績	その他（ ）				
	全区立小・中学校に学校司書を配置し、教員、ボランティア等との協働により、学校図書館の蔵書の充実や館内整備を図り、学校図書館を活用した授業や読書活動を推進しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学校図書館の充実のため、平成21年度から学校司書の配置を開始し、平成24年度からは小・中学校全校に配置しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	児童・生徒、保護者及び学校から、学校司書の継続配置が求められています。			
	今後の予測	教員と学校司書との連携を図り、学校図書館を活用した教育活動を推進していくため、引き続き学校司書の全校配置が必要です。			
評価と課題	学校司書を全区立小・中学校に配置したことにより、学校図書館の機能充実が図られ、児童・生徒への年間貸出冊数が年々増加するとともに、学校図書館を利用した調べ学習も充実してきています。今後は、より学校司書の配置効果を高めるため、済美教育センターの学校図書館サポートデスク・区内各図書館と連携し、児童・生徒の興味・関心が高い図書を充実させるとともに、学校司書の研修体制を充実させることにより、資質向上を図っていきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	学校図書館が子どもたちの読書習慣を培う「読書センター」及び学習活動を支える「学習・情報センター」としてより機能するために、教職員と学校司書が連携して学校図書館を十分に活用した教育活動を推進します。また、学校司書が中央図書館をはじめとした区立図書館と連携し、読書活動を推進するとともに、教育活動に必要な資料を充実させることにより、引き続き各学校図書館を活性化していきます。				

平成27年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00493 ）

事務事業名称		小学校の維持管理			款	07	項	02	目	01	事業	002	整理番号	513
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設整備係			連絡先電話番号	1682	昨年度整理番号	493
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始													
	平成26年度担当課名	学校整備課										事業評価区分	施設維持管理	
	対象	区立小学校の児童及び施設設備			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条						
						(2)		地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安心安全を確保する。			活動指標	指標名（ 1 ）		区立小学校の児童数						
					指標説明		機械警備実施校数							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標名（ 2 ）	指標説明									
	機械警備や昇降機等が導入されている小学校について、それらの設備の保守管理を実施する。			成果指標	指標名（ 1 ）									
					指標説明									
				指標名（ 2 ）	指標説明									
					指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標（ 1 ）	1	人	17,990	18,243	18,243	18,701	18,701	19,063	100.0				
	活動指標（ 2 ）	2	校	32	33	33	36	36	38	100.0				
	成果指標（ 1 ）	3												
	成果指標（ 2 ）	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	88,825	102,033	94,394	98,110	94,119	94,805	平成26年度 予算執行率(%)	95.9			
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	（内）委託費	7	千円	55,591	68,703	61,148	64,671	61,047	64,930					
	職員数	常勤職員数	8	人	71.37	67.35	67.37	62.35	62.37	55.35				
		再任用職員数	9	人	29.11	21.10	20.10	16.10	16.11	13.10				
		非常勤職員数	10	人	29.70	22.46	22.02	13.40	1.86	2.48				
	人件費	常勤職員分	11	千円	620,919	581,231	581,403	549,304	549,480	487,634				
		再任用職員分	12	千円	114,402	81,446	77,586	65,205	65,246	53,055				
		非常勤職員分	13	千円	81,675	62,439	61,216	37,922	5,264	7,018				
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	905,821	827,149	814,599	750,541	714,109	642,512					
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円	50,351	45,341	44,653	40,134	38,186	33,705					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
		その他の補助金等	19	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0					
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	905,821	827,149	814,599	750,541	714,109	642,512					
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 513

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		機械警備業務委託	36	校	22,601
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	5	校	7,247
		散水設備保守点検業務委託	1	校	7,190
		昇降機保守点検業務委託	8	校	8,686
		その他（設備の保守委託ほか）			
(2) 事業実績	引き続き機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の強化に努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門業者との協働が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00500)

事務事業名称		小学校の施設整備				款	07	項	02	目	04	事業	001	整理番号	521	
現担当課名		営繕課		係名		管理計画係		連絡先電話番号		1553		昨年度整理番号		500		
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		投資事業		
事務事業の概要	事業開始		実行計画事業				目標		05 施策		27		計画事業		02	
	平成26年度担当課名		営繕課		事業評価区分		一般									
	対象		区立小学校の児童・生徒、教職員及び学校施設利用者				根拠法令等		(1)		学校教育法第5条					
									(2)		地方自治法第180条の2					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		建設時に当該施設・設備が有していた機能水準は、経年劣化により低下すると共に教育環境の変化により新たに求められる水準との乖離も起こります。低下した機能の回復や、新たに求められる水準まで機能を高めるため改修工事を行うことを目標とする。				活動指標		指標名(1)		改修工事実施校数					
								指標説明								
								指標名(2)								
								指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、大規模改修を中心とした施設・設備の整備を行う。				成果指標		指標名(1)		施設改修実施サイクル						
								指標説明		実施校数×15年÷改修までの経過年数の和						
								指標名(2)								
								指標説明								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	件(校)	33	19	19	15	15	18	100.0						
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3	%	66	68	66	72	74	66	102.8						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	463,232	547,744	526,483	562,387	539,439	524,567	平成26年度予算執行率(%)	95.9					
	(内)投資的経費等	6	千円	463,232	547,744	526,483	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	462,448	546,644	525,918	561,387	538,741	523,667							
	職員数	常勤職員数	8	人	21.96	18.96	21.74	22.74	20.00	20.00						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00						
		非常勤職員数	10	人	0.59	0.59	0.62	0.62	0.61	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	191,052	163,625	187,616	200,339	176,200	176,200						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	4,050						
		非常勤職員分	13	千円	1,623	1,640	1,724	1,755	1,726	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	655,907	713,009	715,823	764,481	717,365	704,817							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,838,636	8,698,158	9,965,263	50,965,400	47,824,333	39,156,500							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	12,158	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	12,158	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	643,749	713,009	715,823	764,481	717,365	704,817							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	521	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		三谷小学校雨水流出抑制対策工事			77,760
		久我山小学校校舎外壁補修工事			62,424
		杉並第六小学校校舎外壁補修工事			59,724
		桃井第四小学校校舎外壁補修工事			56,376
		その他（杉並第十小学校校舎屋上防水改修工事ほか）			283,155
(2) 事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上をはかるため、区の実行計画に基づき、校舎屋上防水工事、校舎外壁補修工事、便所・排水管改修工事、受変電設備取替工事、雨水流出抑制対策工事等、学校諸施設の整備工事を行いました。</p> <p>今後も学校の改築時期を見極めながら、効果的な改修を行えるよう調整を図り工事を行います。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校建物の老朽化が進む中、改築を計画的に行う必要がありますが、期間と経費がかかることから、改築時までの改修工事の重要性は大きくなっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>学校利用者からは、校舎の傷みが進んでおり、内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、施設面では、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、周囲の狭あい道路（二項道路）のセットバック、校庭の土埃対策、工事騒音対策等が求められています。</p>			
	今後の予測	<p>今後、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的に改修を行っていき、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>			
評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持に努めました。また、教育的ニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組みます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、現在のローテーションで改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれており、改築時期を見極めながら効率的な改修を行う必要があります。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00501）

事務事業名称		高井戸第二小学校の改築				款	07	項	02	目	04	事業	005	整理番号	522		
現担当課名		学校整備課		係名		教育施設計画係		連絡先電話番号		1685		昨年度整理番号		501			
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分				投資事業	
事務事業の概要	事業開始		平成22年度		実行計画事業		目標 05		施策 27		計画事業 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成26年度担当課名		学校整備課						事業評価区分				一般				
	対象				高井戸第二小学校児童、教職員及び学校利用者				根拠法令等		(1)		学校教育法第5条				
											(2)		地方自治法第180条の2				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）				学校の改築工事を実施することにより、地震に対する安全性及び教育環境の向上を図ります。				活動指標		指標名（1）		建設工事進捗率（平成24年度～平成25年度）				
										指標説明		環境整備工事進捗率（平成26年度）					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				平成22年度 校舎改築検討協議会設置、基本設計 平成23年度 実施設計、既存プール解体工事、仮設校舎建設工事 平成24年度 既存校舎・体育館解体工事 平成24～25年度 新校舎建設工事 平成26年度 仮設校舎解体工事、校庭整備工事、施設整備点検（安全対策含む）				成果指標		指標名（1）		区立小学校の耐震化率					
										指標説明		全棟のうち、昭56年以前の旧耐震基準建物で耐震性がある棟、耐震補強済の棟、昭57年以降建築の棟の割合					
										指標名（2）		指標説明					
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度					
				実績		計画		計画 （目標値）		実績		計画		対計画比（%）			
指標	活動指標（1）		1 %		21.8		100.0		100.0		0.0		0.0		0.0		
	活動指標（2）		2 %		0		0		0		100		100		0		
	成果指標（1）		3 %		100		100		100		100		100		100.0		
	成果指標（2）		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		983,402		2,501,887		2,493,474		220,391		214,816		0		
	（内）投資的経費等		6 千円		983,402		2,501,887		2,493,474		220,391		214,816		0		
	（内）委託費		7 千円		785,681		2,173,503		2,172,879		213,699		208,449		0		
	職員数	常勤職員数		8 人		1.14		1.50		1.69		1.00		1.00		0.00	
		再任用職員数		9 人		0.00		0.70		0.72		0.00		0.00		0.00	
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.20		0.20		0.00	
	人件費	常勤職員分		11 千円		9,918		12,945		14,585		8,810		8,810		0	
		再任用職員分		12 千円		0		2,702		2,779		0		0		0	
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		566		566		0	
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		993,320		2,517,534		2,510,838		229,767		224,192		0		
	単位あたりコスト (14-6)÷1		15 円		454,954		156,470		173,640		0		0		0		
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0	
		国からの補助金等		17 千円		147,343		701,602		862,333		0		0		0	
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		147,343		701,602		862,333		0		0		0			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		845,977		1,815,932		1,648,505		229,767		224,192		0			
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
														平成26年度 予算執行率(%)			
														97.5			
														特記事項			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	522	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		環境整備工事費（環境整備、防球ネット、安全対策工事）			207,460
		初度調弁			4,581
		代替運動場賃借			807
		境界復元測量委託			892
	その他（改築校維持管理、落成式）			1,076	
(2) 事業実績	グラウンドの造成、体育倉庫・防災倉庫等外部建屋の建築、外構の整備などの環境整備工事を実施し、平成27年2月に竣工を迎えました。これにより、高井戸第二小学校の改築事業は完了となりました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高井戸第二小学校の学級数・児童数（普通学級）は、基本設計開始当初の平成22年5月時は、18学級・557人でしたが、平成27年4月には22学級・649人に増加しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	解体・建設など一連の工事の実施に伴い、振動・騒音及び工事車両の運行等について、苦情がありました。また、環境整備工事では、目隠しフェンスや既存樹木の取り扱い、植樹についての要望がありました。			
	今後の予測				
評価と課題	改築以前と比べて学級数、児童数ともに拡大していることから、教育環境が向上し、地域の教育需要に応える改築校舎となったと考えます。また、グラウンドや外部防災倉庫等の完成によって、防災の拠点としての施設整備も行うことができました。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	高井戸第二小学校の改築事業をもって、区立の小中学校の耐震改築事業は終了しました。今後は、小中学校の老朽改築にあたって、「杉並区立小中学校老朽改築計画」に基づき、施設の複合化・多機能化を図るとともに、施設規模の適正化（スリム化）を進めていきます。				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00503）

事務事業名称		小学校空調設備整備			款	07	項	02	目	04	事業	007	整理番号	523	
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設整備係			連絡先電話番号	1682	昨年度整理番号	503	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分		新規事業
事務事業の概要	事業開始	平成22年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）										
	平成26年度担当課名	学校整備課			事業評価区分									一般	
	対象	区立小学校			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条							
						(2)		地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	教育環境改善のために教室に空調設備を整備する。			活動指標	指標名（1）		空調設備設置工事校数							
					指標説明		空調設備整備設計校数								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標名（2）	指標説明		空調設備設置率								
	区立小学校の教室に空調設備を整備する。				指標説明		空調設備設置小学校数÷小学校数（H25・26・27理科室、H28・29図工・家庭科室）								
				成果指標	指標名（1）		空調設備設置率								
					指標説明		空調設備設置小学校数÷小学校数（H25・26・27理科室、H28・29図工・家庭科室）								
				指標名（2）	指標説明										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（1）	1 校	0	0	0	32	32	0	100.0						
	活動指標（2）	2 校	0	32	32	0	0	27	0.0						
	成果指標（1）	3 %	0	19	19	100	100	100	100.0						
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	0	5,500	4,715	111,000	99,143	3,996	平成26年度予算執行率(%)	89.3					
	（内）投資的経費等	6 千円	0	5,500	4,715	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7 千円	0	5,500	4,715	111,000	99,143	3,996							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.00	0.00	0.05	0.10	0.11	0.05						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	0	0	432	881	969	441						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費	14 千円	0	5,500	5,147	111,881	100,112	4,437							
	単位あたりコスト	15 円	0	0	0	3,496,281	3,128,500	0							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源		21 千円	0	5,500	5,147	111,881	100,112	4,437							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	523	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		小学校理科室空調設備整備設置工事		32	校	99,143
	その他（ ）					
(2) 事業実績	小学校理科室32校36室に空調設備を設置しました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	教育環境を改善し、児童が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26年度には理科室に空調設備を設置しました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	保護者などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備の整備が求められています。				
	今後の予測	他の特別教室についても、教育環境改善等により、空調設備整備が求められていくと予想されます。				
評価と課題	普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。今後は、空調設備未設置の図工室・家庭科室の整備を進めていきます。					
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	杉並区実行計画に基づき、空調設備未設置の図工室・家庭科室に空調設備を設置します。					

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00504）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（新泉・和泉地区）			款 07	項 02	目 04	事業 008	整理番号 524			
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1685		昨年度整理番号 504				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業				
事業開始 平成22年度		実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
平成26年度担当課名 学校整備課						事業評価区分 一般				
事務事業の概要	対象		新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の3校を統合し、現和泉小学校・和泉中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置します。小中一貫での連続性のある教育活動により、児童・生徒に対する教育効果の向上が図られるようにします。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	建設工事進捗率（平成25年度～平成26年度） 環境整備工事進捗率（平成27年度）				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		平成23年度 基本設計 平成23～24年度 実施設計 平成25～26年度 新校舎建設工事 平成27年度 環境整備工事		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画（目標値） 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比（%）	
指標	活動指標（1）	1 %	0.0	18.5	16.5	100.0	100.0	0.0	100.0	
	活動指標（2）	2 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	44,719	411,202	406,042	1,587,645	1,584,975	214,304	平成26年度 予算執行率（%） 99.8	
	（内）投資的経費等	6 千円	44,718	411,202	406,042	1,587,645	1,584,975	214,304	特記事項	
	（内）委託費	7 千円	41,603	404,735	402,482	1,418,770	1,418,760	205,027		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.67	1.00	1.08	1.20	1.40	0.50	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.10	0.11	0.30	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	5,829	8,630	9,320	10,572	12,334	4,405	
		再任用職員分	12 千円	0	386	425	1,215	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	50,548	420,218	415,787	1,599,432	1,597,309	218,709		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	0	487,351	590,606	117,870	123,340	0		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	44,079	58,279	159,585	148,150	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	44,079	58,279	159,585	148,150	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	50,548	376,139	357,508	1,439,847	1,449,159	218,709		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	524	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		改築改修工事（建築・電気・機械設備・昇降機設備・解体工事等）			
		工事監理委託			15,015
		備品搬出・廃棄物処理委託			7,460
		初度調弁			162,809
		その他（運動場等代替措置、改築校維持管理）			3,406
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成26年度は、小学部棟の本格的な建設工事を行うとともに、既存和泉中学校の大規模改修工事に着手しました。平成27年3月には、建設工事が竣工し、区内初の施設一体型小中一貫教育校である「杉並和泉学園」の校舎が完成しました。</p> <p>平成27年度は、旧和泉小学校の校舎解体、グラウンド造成などの環境整備工事を実施します。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>杉並和泉学園は、新泉小学校、和泉小学校、和泉中学校の3校が、平成17年度から小中一貫教育に取り組み、学校間の連携や交流を積極的に行い、地域との連携も着実に進んでいたことから、隣接し合う和泉小学校と和泉中学校の校地を活用して3校が合同となった区内初の施設一体型小中一貫の校舎建設を開始し、平成26年度末に竣工しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>一体型施設を活用して小中一貫教育を実施するメリットをより明確にしながら計画を具体化すること、小学校部門と中学校部門との連携強化はもとより、学校関係者と地域住民との連帯意識の更なる向上を図ること、小中一貫教育の理念をよりよい形で具現化できるような施設の整備を行うことへの要望などが出されました。</p> <p>また、工事にあたっては、一部近隣住民から騒音、振動等についての苦情等がありました。</p>			
	今後の予測				
評価と課題		<p>工事期間中（平成26年度）の和泉中学校の学校機能をどこに移転させるかについては、代替地の問題がありました。既存の新泉小学校の改修を行い、一時移転を行いました。これにより、改築期間中の仮設校舎建設が不要になるとともに、小学校のグラウンドの共用によって、工事期間中の運動スペースを確保することができました。</p> <p>また、このことにより小学校児童と中学校生徒が新泉小学校で一緒になった学校運営が先行実施できました。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
今後の進め方	<p>平成31年4月開校予定の高円寺地区小中一貫教育校については、杉並和泉学園の改築時の経験を活かし、児童生徒の動線に伴う特別教室等の配置、校内放送などの諸設備の使い方などの課題を踏まえた施設整備を行い、改善を図っていきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00666)

事務事業名称		小中一貫校の施設整備(高円寺地区)			款	07	項	02	目	04	事業	009	整理番号	525	
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設計画係			連絡先電話番号	1684		昨年度整理番号	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成26年度													
	平成26年度担当課名	学校整備課									事業評価区分	一般			
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条							
						(2)		地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置する。			活動指標			設計進捗率							
				指標名(1)			設計進捗率								
				指標説明			改築に係る設計進捗率(基本設計30%・実施設計70%)								
				指標名(2)											
				指標説明											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			成果指標											
	平成25年度～開校 平成27年度 平成27～28年度 平成29～30年度 平成31年度			新しい学校づくり懇談会開催 基本設計 実施設計 新校舎建設工事 環境整備工事	指標名(1)										
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	%			0	0	40	0.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			2,851	1,555	24,100	平成26年度 予算執行率(%)	54.5					
	(内)投資的経費等	6	千円			0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円			2,851	1,555	24,100							
	職員数	常勤職員数	8	人			0.20	0.20	2.00						
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円			1,762	1,762	17,620						
		再任用職員分	12	千円			0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円			0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円			4,613	3,317	41,720							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円			0	0	1,043,000							
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円			0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円			0	0	0						
その他の補助金等		19	千円			0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円			0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円			4,613	3,317	41,720							
受益者負担比率(16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	525
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		地盤調査委託			
	(2) 事業実績	高円寺中学校の校地の地盤調査を実施しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら具体的な計画検討を進めてきました。懇談会での意見等を教育委員会ホームページに掲載し、また、近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布することにより、地域に対して丁寧に進捗状況の周知を行い、計画に対する理解が進んでいます。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設一体型の小中一貫教育の効果を高め、小中学生が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしながら検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交わる学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校となることへの要望が出されています。			
	今後の予測				
	評価と課題	平成27年度からの基本設計業務に向け、新しい学校づくり懇談会を通して、保護者や学校関係者、地域関係者が新校に求める学校像などを伺い、高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方を整理しました。今後は、特別支援学級の種別や学童クラブの配置、工事期間中の仮設校舎や代替運動場などの諸課題については、基本設計の策定の中で各所管課と調整を図るとともに、杉並第四小学校の跡地活用の検討を踏まえ、新校と跡地との教育活動の連携を考慮した設計を検討していきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	今後の進め方	平成27年度は、新しい学校づくり懇談会や統合3校の合同研究会における議論を深め、平成31年4月の開校に向け基本設計を策定するとともに実施設計に着手します。また、設計にあたっては杉並和泉学園の改築時の経験を活かし、児童生徒の動線に伴う特別教室等の配置、校内放送などの諸設備の使い方などの課題を踏まえた施設整備を図っていきます。			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00673)

事務事業名称		桃井第二小学校の改築			款	07	項	02	目	04	事業	011	整理番号	526
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設計画係			連絡先電話番号	1685	昨年度整理番号	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成26年度												
	平成26年度担当課名	学校整備課									事業評価区分	一般		
	対象	桃井第二小学校の児童、教職員及び学校関係者			根拠法令等	(1)	学校教育法第5条							
						(2)	地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	平成27年に築50年を迎えるための老朽改築事業			活動指標	指標名(1)	改築検討懇談会開催回数							
					指標説明	設計進捗率								
					指標名(2)	改築に係る設計進捗状況(基本設計30%・実施設計70%)								
					指標説明									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標	指標名(1)								
	平成26年度 改築検討懇談会設置					指標説明								
	平成27年度 改築検討懇談会運営													
	平成28年度 基本設計													
	平成29～30年度 仮設校舎建設													
	平成31年度 新校舎建設工事													
	平成31年度 環境整備工事													
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	回			2	2	7	100.0					
	活動指標(2)	2	%			0	0	30	0.0					
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			249	234	0	平成26年度予算執行率(%)	94.0				
	(内)投資的経費等	6	千円			0	234	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円			50	50	0						
	職員数	常勤職員数	8	人			0.20	0.20	2.00					
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人			0.80	0.80	1.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円			1,762	1,762	17,620					
		再任用職員分	12	千円			0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円			2,264	2,264	2,830					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円			4,275	4,260	20,450						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円			2,137,500	2,013,000	2,921,429						
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円			0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円			0	0	0					
その他の補助金等		19	千円			0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円			0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円			4,275	4,260	20,450						
受益者負担比率(16÷14)	22	%					0.0	0.0	0.0					

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	526
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		桃井第二小学校校舎改築検討懇談会の開催	2	回	234
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	地域の代表、学校関係者、学識経験者による「桃井第二小学校校舎改築検討懇談会」を設置しました。改築基本方針の策定に向けて、改築に対する意見交換や近年改築校の視察を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	桃井第二小学校の保護者だけでなく、未就学児の保護者に対する情報発信や改築期間中の運動スペース、運動時間の確保について配慮を求める意見がありました。			
	今後の予測				
	評価と課題	桃井第二小学校の全学年の保護者会、学校評議員会、PTA運営委員会において改築計画の説明を行いました。未就学児保護者に対しては、改築のお知らせを就学通知に同封するとともに、近隣幼稚園・保育施設にはお知らせの配布を行いました。また、改築検討懇談会ニュースを発行し、学校近隣宅に配るなど、積極的に改築計画の周知に取り組みました。仮設校舎の規模や配置、工事期間中の代替運動場の確保などの諸問題については、基本設計の策定の中で調整を図っていきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	平成27年度は、改築検討懇談会の議論を深め、改築基本方針を取りまとめるとともに基本設計を実施していきます。			

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00507）

事務事業名称		中学校の維持管理			款	07	項	03	目	01	事業	002	整理番号	529	
現担当課名		学校整備課		係名	教育施設整備係			連絡先電話番号	1682		昨年度整理番号	507			
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始														
	平成26年度担当課名		学校整備課			事業評価区分						施設維持管理			
	対象		区立中学校の生徒及び施設設備			根拠法令等		(1)		学校教育法第5条					
								(2)		地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安心安全を確保する。			活動指標		指標名（1）		区立中学校の生徒数					
							指標説明		機械警備実施校数						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		機械警備や昇降機等が導入されている中学校について、それらの設備の保守管理を実施する。			成果指標		指標名（1）								
							指標説明								
							指標名（2）								
							指標説明								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（1）	1	人	6,228	6,420	6,420	6,465	6,465	6,547	100.0					
	活動指標（2）	2	校	20	21	21	20	20	21	100.0					
	成果指標（1）	3													
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	34,222	42,131	37,648	38,612	35,621	40,096	平成26年度 予算執行率（%）	92.3				
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	34,199	42,105	37,626	38,586	35,597	40,070						
	職員数	常勤職員数	8	人	22.37	19.35	19.37	16.35	16.37	17.35					
		再任用職員数	9	人	12.11	6.10	7.10	16.10	15.11	14.10					
		非常勤職員数	10	人	11.72	12.34	12.34	3.72	1.24	0.62					
	人件費	常勤職員分	11	千円	194,619	166,991	167,163	144,044	144,220	152,854					
		再任用職員分	12	千円	47,592	23,546	27,406	65,205	61,196	57,105					
		非常勤職員分	13	千円	32,230	34,305	34,305	10,528	3,509	1,755					
	総事業費	14	千円	308,663	266,973	266,522	258,389	244,546	251,810						
	単位あたりコスト	15	円	49,561	41,585	41,514	39,967	37,826	38,462						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源		21	千円	308,663	266,973	266,522	258,389	244,546	251,810						
受益者負担比率		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 529

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		機械警備業務委託	20	校	14,263
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	3	校	5,571
		昇降機保守点検業務委託	8	校	7,240
		その他（設備の保守委託ほか）			8,547
(2) 事業実績	引き続き機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の強化に努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門業者との協働が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	535	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単 位	事業費（千円）
		和田中学校校舎外壁補修工事			
		中瀬中学校校便所・排水管改修工事			64,476
		東原中学校受変電設備取替工事			35,511
		神明中学校校舎屋上防水改修工事			34,560
		その他（富士見丘中学校防火シャッター改修工事ほか）			85,895
	(2) 事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上をはかるため、区の実行計画に基づき、校舎屋上防水工事、校舎外壁補修工事、受変電設備設置工事、照明設備改修工事等、学校諸施設の整備工事を行いました。今後も学校の改築時期を見極めながら、効果的な改修を行えるよう調整を図り工事を行います。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校建物の老朽化が進む中、改築を計画的に行う必要がありますが、期間と経費がかかることから、改築時までの改修工事の重要性は大きくなっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>学校利用者からは、校舎の傷みが進んでおり、内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、施設面では、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、周囲の狭あい道路（二項道路）のセットバック、校庭の土埃対策とともに、工事中の安全や公害対策等が求められています。</p>			
	今後の予測	<p>今後、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的に改修を行っていき、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持に努めました。また、教育的ニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組みます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、現在のローテーションで改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれており、改築時期を見極めながら効率的な改修を行う必要があります。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00668）

事務事業名称		中学校空調設備整備			款	07	項	03	目	03	事業	005	整理番号	536	
現担当課名		学校整備課			係名		教育施設整備係			連絡先電話番号		1682	昨年度整理番号		
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分			投資事業
事務事業の概要	事業開始		平成22年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）									
	平成26年度担当課名		学校整備課			事業評価区分									一般
	対象		区立中学校			根拠法令等		(1)		学校教育法第5条					
								(2)		地方自治法第180条の2					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		教育環境改善のために教室に空調設備を整備する。			活動指標		指標名（1）		空調設備設置工事校数					
							指標説明		空調設備整備設計校数						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		区立中学校の教室に空調設備を整備する。			指標名（2）		指標説明		空調設備設置率（%）						
					成果指標		指標名（1）		空調設備設置中学校数 ÷ 小学校数 H26・27理科室、H28・29家庭科室						
					指標説明		指標名（2）		指標説明						
					指標説明		指標名（2）		指標説明						
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（1）		1	0	0	0	0	18	0.0						
	活動指標（2）		2	0	0	18	18	9	100.0						
	成果指標（1）		3	0	0	22	22	100	100.0						
	成果指標（2）		4												
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	0	0	5,300	5,238	110,664	平成26年度予算執行率(%) 98.8					
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費		7	千円	0	0	5,300	5,238	110,664						
	職員数	常勤職員数		8	人	0.00	0.00	0.00	0.05	0.10					
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分		11	千円	0	0	0	441	881					
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	0	5,300	5,679	111,545						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	0	0	0	0	6,196,944						
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	0	0	5,300	5,679	111,545							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	536	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		中学校理科室空調設備整備設計		18	校	5,238
	その他（ ）					
(2) 事業実績	中学校理科室空調設備整備の設計を行いました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	教育環境を改善し、生徒が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26年度には理科室空調設備の設計を行いました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	保護者などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備の整備が求められています。				
	今後の予測	他の特別教室についても、教育環境改善等により、空調設備整備が求められていくと予想されます。				
	評価と課題	普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。今後は、空調設備未設置の理科室・家庭科室の整備を進めていきます。				
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	杉並区実行計画に基づき、空調設備未設置の理科室、家庭科室（被服室・調理室）に空調設備を設置します。				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00514）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（新泉・和泉地区）			款 07	項 03	目 03	事業 006	整理番号 537				
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1684		昨年度整理番号 514					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成22年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成26年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般					
	対象	新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者			根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の3校を統合し、現和泉小学校・和泉中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置します。小中一貫での連続性のある教育活動により、児童・生徒に対する教育効果の向上が図られるようにします。			活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	建設工事進捗率（平成25年度～平成26年度） 環境整備工事進捗率（平成27年度）					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成23年度 基本設計 平成23～24年度 実施設計 平成25～26年度 新校舎建設工事 平成27年度 環境整備工事			成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明						
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
指標	活動指標（1）	1	%	0.0	18.5	16.5	100.0	100.0	0.0	100.0	
	活動指標（2）	2	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	成果指標（1）	3									
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	44,719	413,370	406,559	1,471,675	1,469,629	207,281	平成26年度 予算執行率(%) 99.9	
	（内）投資的経費等	6	千円	44,718	413,370	406,559	1,471,675	1,469,629	207,281	特記事項	
	（内）委託費	7	千円	41,603	406,948	402,853	1,418,691	1,418,680	205,027		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.67	1.00	1.08	1.20	1.40	0.50	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.10	0.11	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	5,829	8,630	9,320	10,572	12,334	4,405	
		再任用職員分	12	千円	0	386	425	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	50,548	422,386	416,304	1,482,247	1,481,963	211,686		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円	0	487,351	590,606	105,720	123,340	0		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	44,078	58,278	159,585	148,150	0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	44,078	58,278	159,585	148,150	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	50,548	378,308	358,026	1,322,662	1,333,813	211,686		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	537	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		改築改修工事（建築・電気・機械設備・昇降機設備・解体工事ほか）			
		工事監理委託			15,015
		備品搬出・廃棄物処理委託			7,381
		初度調弁			29,610
		その他（運動場等代替措置、改築校維持管理）			21,338
(2) 事業実績	<p>平成26年度は、小学部棟の本格的な建設工事を行うとともに、既存和泉中学校の大規模改修工事に着手しました。平成27年3月には建設工事が竣工し、区内初の施設一体型小中一貫教育校である「杉並和泉学園」の校舎が完成しました。</p> <p>平成27年度は、旧和泉小学校の校舎解体、グラウンド造成などの環境整備工事を実施します。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>杉並和泉学園は、新泉小学校、和泉小学校、和泉中学校の3校が、平成17年度から小中一貫教育に取り組み、学校間の連携や交流を積極的に行い、地域との連携も着実に進んでいたことから、隣接し合う和泉小学校と和泉中学校の校地を活用して3校が合同となった区内初の施設一体型小中一貫の校舎建設を開始し、平成26年度末に竣工しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>一体型施設を活用して小中一貫教育を実施するメリットをより明確にしなが計画を具体化すること、小学校部門と中学校部門との連携強化はもとより、学校関係者と地域住民との連帯意識の更なる向上を図ること、小中一貫教育の理念をよりよい形で具現化できるような施設の整備を行うことへの要望などが出されました。</p> <p>また、工事にあたっては、一部近隣住民から騒音、振動等についての苦情等がありました。</p>			
	今後の予測				
評価と課題	<p>工事期間中（平成26年度）の和泉中学校の学校機能をどこに移転させるかについては、代替地の問題がありました。既存の新泉小学校の改修を行い、一時移転を行いました。これにより、改築期間中の仮設校舎建設が不要になるとともに、小学校のグラウンドの共用によって、工事期間中の運動スペースを確保することができました。</p> <p>また、このことにより小学校児童と中学校生徒が新泉小学校で一緒になった学校運営が先行実施できました。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
今後の進め方	<p>平成31年4月開校予定の高円寺地区小中一貫教育校については、杉並和泉学園の改築時の経験を活かし、児童生徒の動線に伴う特別教室等の配置、校内放送などの諸設備の使い方などの課題を踏まえた施設整備を行い、改善を図っていきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00669)

事務事業名称		小中一貫校の施設整備(高円寺地区)			款	07	項	03	目	03	事業	007	整理番号	538
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設計画係			連絡先電話番号	1684	昨年度整理番号	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	投資事業
事務事業の概要	事業開始	平成26年度												
	平成26年度担当課名	学校整備課									事業評価区分	一般		
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者			根拠法令等	(1)	学校教育法第5条			(2)	地方自治法第180条の2			
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置する。			活動指標	設計進捗率			改築に係る設計進捗率(基本設計30%・実施設計70%)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	平成25年度～開校 平成27年度 平成27～28年度 平成29～30年度 平成31年度			新しい学校づくり懇談会開催 基本設計 実施設計 新校舎建設工事 環境整備工事	成果指標	指標名(1)			指標説明				
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	%			0	0	40	0.0					
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			2,851	1,555	24,100	平成26年度 予算執行率(%)	54.5				
	(内)投資的経費等	6	千円			0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円			2,851	1,555	24,100						
	職員数	常勤職員数	8	人			0.20	0.20	2.00					
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円			1,762	1,762	17,620					
		再任用職員分	12	千円			0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円			0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円			4,613	3,317	41,720						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円			0	0	1,043,000						
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円			0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円			0	0	0					
その他の補助金等		19	千円			0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円			0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円			4,613	3,317	41,720						
受益者負担比率(16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 538

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	地盤調査委託			1,555
	(2) 事業実績	高円寺中学校の校地の地盤調査を実施しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら具体的な計画検討を進めてきました。懇談会での意見等を教育委員会ホームページに掲載し、また、近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布することにより、地域に対して丁寧に進捗状況の周知を行い、計画に対する理解が進んでいます。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	施設一体型の小中一貫教育の効果を高め、小中学生が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしながら検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交わる学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校となることへの要望が出されています。			
	今後の予測				
	評価と課題	平成27年度からの基本設計業務に向け、新しい学校づくり懇談会を通して、保護者や学校関係者、地域関係者が新校に求める学校像などを伺い、高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方を整理しました。今後は、特別支援学級の種別や学童クラブの配置、工事期間中の仮設校舎や代替運動場などの諸課題については、基本設計の策定の中で各所管課と調整を図るとともに、杉並第四小学校の跡地活用の検討を踏まえ、新校と跡地との教育活動の連携を考慮した設計を検討していきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	平成27年度は、新しい学校づくり懇談会や統合3校の合同研究会における議論を深め、平成31年4月の開校に向け基本設計を策定するとともに実施設計に着手します。また、設計にあたっては杉並和泉学園の改築時の経験を活かし、児童生徒の動線に伴う特別教室等の配置、校内放送などの諸設備の使い方などの課題を踏まえた施設整備を図っていきます。			